

中古で入手した古いノート PC の HDD を入れ替えて OS をクリーンインストールし、HDD からリカバリーできるようにしたいと思っていましたが具体的なやり方が分からずあれこれ調べてようやくできました。第 2 パーティションを起動すると第 1 パーティションをバックアップ、リカバリーできます。バックアップツールとして Norton Ghost2003 を使用しますが、基本的に DOS ベースなので、使いこなすにはある程度知識が必要です。そこで、いろいろ試した結果を具体的な手順としてまとめました。この方法だと Windows から Ghost のイメージファイルが見えるので、CD-R 等へのバックアップも簡単にできます。

下記は、第 1 パーティションに Windows2000、第 2 パーティション（リカバリ領域）に DOS(Windows98) を入れる例です。

用意するもの

- ・ DOS 起動可能な FD に MBM を入れたもの。
- ・ Norton Ghost2003(Ghost9,10 のおまけとして付属)
- ・ Windows98 の起動ディスク (Me のは NG。システムを転送できません)

手順

HD 換装後、FD から起動して MBM をインストール

```
>mbm install
```

MBM の区画エディタを起動

```
>mbm edit
```

- ・ 第 1 パーティションを HPFS/NTFS に設定し、第 2 パーティションを DOS FAT32X に設定する。(MBM の拡張メニューを入れる場合は、空きシリンダを 1 つ残す)
- ・ 第 1 パーティションをアクティブにし、Windows をインストールする。
- 1. 第 2 パーティションをアクティブにし、Win98 の起動ディスクでフォーマットする。

```
>format c:
```

- ・ FAT16 でフォーマットされてしまった場合は、Windows を起動して FAT32 でフォーマットしなおす。(というか、最初から Windows でフォーマットするほうがよかったかも)
- ・ Win98 の起動ディスクからシステムを転送する。

```
>sys a: c:
```

- ・ Windows を起動し、DOS パーティションに必要なファイル (autoexec.bat ghost.exe 等) を転送する。
- ・ DOS を起動して、Ghost2003 でバックアップ、リストアを試す。

バックアップのコマンド例

```
>ghost -clone,mode=pcreate,src=1:1,dst=c:%image.gho -split=620 -z9
```

リストアのコマンド例

```
>ghost -clone,mode=prestore,src=c:¥image.gho:1,dst=1:1
```

autoexec.bat の例 (CHOICE.COM を使用。98,Me の \WINDOWS\COMMAND ディレクトリにあるツール)

```
ECHO OFF
:RETRY
CLS
ECHO =====BACKUP & RECOVERY=====
ECHO 1.BACK UP
ECHO 2.RECOVERY
ECHO 3.END
ECHO =====
CHOICE /C:123 /N select number?
IF ERRORLEVEL 3 GOTO END
IF ERRORLEVEL 2 GOTO RECOVERY
IF ERRORLEVEL 1 GOTO BACKUP
REM =====
:BACKUP
CLS
ECHO execute BACK UP operation
CHOICE execute?
IF ERRORLEVEL 2 GOTO RETRY
ghost -clone,mode=pcreate,src=1:1,dst=c:¥image.gho -split=620 -z9
GOTO RETRY
REM =====
:RECOVERY
CLS
ECHO execute RECOVERY operation
ECHO !disk will be overwritten!
ECHO CAUTION! data will be deleted!
CHOICE really execute?
IF ERRORLEVEL 2 GOTO RETRY
ghost -clone,mode=prestore,src=c:¥image.gho:1,dst=1:1
GOTO RETRY
REM =====
:END
```

MBM の拡張メニューを入れる

MBM Maker が便利。絵のファイルサイズがすぐ制限値を超えてしまうので、Photoshop 等のツールで 256 色の誤差拡散で保存し、ペイントで開いて保存しなおすとよい。出来上がったメニューファイルを FD が第 2 パーティションに置いて、

```
>mbm setmenu
```

メニューファイルとシリンダを指定する。

関連リンク

MBM

<http://applause.elfmimi.jp/mbm/old-index.shtml>

http://nobumasa-web.hp.infoseek.co.jp/multi_boot/free_tool.html#mbm

<http://art.g--z.com/multiple/index.html>

Ghost

<http://itokame.jp/pcs/gst/Ghost2003.htm>

その他

<http://www.bootdisk.com/bootdisk.htm>
